

市民公開講演会開催のご案内

主催：三重県保険医協会環境対策部
後援：核戦争防止国際医師会議
(IPPNW) 三重県支部

国連で核兵器禁止条約が採択されて1年が経ち、国際社会で核兵器廃絶の運動が高まる中、核兵器による健康被害を再確認するために市民公開講演会を開催します。

ビキニ水爆実験の

忘れられた被災者たち

【講師】 間間 元 氏

静岡県保険医協会理事長
生協きたはま診療所（浜松市）

開催日時 2019年1月12日（土）
15：00～17：00

開催会場 じばさん三重 4階研修室 1
四日市市安島1丁目3-18 三重北勢地域地場産業振興センター
TEL 059-353-8100

会場定員 40人

講師からのメッセージ



1954年3月1日のビキニ環礁でのブラボー水爆実験を皮切りに、マーシャル諸島で計6回の核実験が行われたが、この海域で被ばくしたのは第五福竜丸だけではなかった。

60年後に厚労省が開示した文書には、述べ556隻（実数473隻）の日本の船舶（マグロ漁船、貨物船、捕鯨船）が放射能に汚染した記録が含まれていた。

この中には三重船籍の、ホ号高宮丸（尾鷲）、第十二海王丸（南海）、第八徳栄丸（鵜倉）など10隻余りの船も含まれている。さらに被災7年目に三重大病院に急性骨髄性白血病で入院した第五拓新丸元漁労長の記録もある。

2016年2月、被災漁船の元船員と遺族11名ががん等の発病に被ばくの影響があるととして船員保険労災の認定を申請したが全員却下され、現在社会保険審査会で再審査中である。

広島・長崎に続く「第三の被ばく」であるビキニ事件をテーマにお話しします。

【問い合わせ先】 三重県保険医協会担当 小田・勝永 津市観音寺町 429-13 TEL 059-225-1071

三重県保険医協会ファクシミリ送信票 (FAX 059-225-1088)

○三重県保険医協会環境対策部市民公開講演会に_____人で申し込みます。

代表者氏名 _____ 電話番号 (_____) - _____

住 所 〒 _____